

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 JFEサンソセンター 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

圧縮ガス・液化ガス製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22(2010)年度を基準年度とし、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段:実排出量(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))							
	平成 年度	平成 年度	年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量											
実績に対する自己評価											

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量[kNm<sup>3</sup>/年]

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	0.212	0.184	0.156					
		-13.1	26.3	100.0	100.0	100.0	100.0	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	71.5	62.12	67.19					
		-13.1	6.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績に対する自己評価	平成29年度から買電先に中国電力㈱に加えて瀬戸内共同火力㈱が追加された。 瀬戸内共同火力㈱のCO <sub>2</sub> 排出係数は中国電力㈱の約1.6倍である。当社は買電先を選べず (配分は親会社であるJFEスチール㈱が実施) 配分により原単位は年度ごとにばらつきが生じている。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電力原単位 対前年度比1%削減	新圧送設備（中圧酸素圧縮機）の運転 高効率液化装置の運転 製造装置の最適組合わせ運転 冷暖房温度の適正管理
2			
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 JFEサンソセンター 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

圧縮ガス・液化ガス製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22(2010)年度を基準年度とし、平成28(2016)年度から令和2(2020)年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段:実排出量(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))										
		上段:見込量 (b)	下段:削減率 (c)	平成		年度		平成		年度		平成		年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量														
実績に対する自己評価														

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量[kNm<sup>3</sup>/年]

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))				
		上段:目標 (b)	下段:削減率 (c)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	0.212	0.184	-13.1	0.194	0.233	0.201	0.178	0.156
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	71.5	62.12	-13.1	69.88	69.43	68.53	68.75	67.19
実績に対する自己評価	平成29年度から買電先に中国電力㈱に加えて瀬戸内共同火力㈱が追加された。 瀬戸内共同火力㈱のCO <sub>2</sub> 排出係数は中国電力㈱の約1.6倍である。当社は買電先を選べず (配分は親会社であるJFEスチール㈱が実施) 配分により原単位は年度ごとにばらつきが生じている。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電力原単位 対前年度比1%削減	新圧送設備（中圧酸素圧縮機）の運転 高効率液化装置の運転 製造装置の最適組合わせ運転 冷暖房温度の適正管理
2			
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

### 【ご質問】

以下2か所の書き方が分からず、報告書を2パターン作成して送付させていただきましたので、適切な方を受領いただきたくお願い申し上げます。

#### ① 別紙2（計画の期間）

計画の期間は直近で提出した「温室効果ガス削減報告書」に記載した計画の期間と合わせるべきでしょうか？直近では昨年2020年に「温室効果ガス削減報告書」を提出しており、ここに記載した期間は「令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5年間」としておりました。

それとも昨年度が計画の最終年となるように「平成28(2016)年度から令和2(2020)年度までの5年間」とするべきでしょうか。（この場合、来年提出する「温室効果ガス削減実施状況報告書では「平成28(2016)年度から令和2(2020)年度までの5年間」となります。）

#### ② 別紙3（温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況）

上記の計画の期間と同様の質問です。

作成者

⇒株式会社 JFE サンソセンター

福山工場技術課技術1係

本田 尚輝（ほんだ なおき）

TEL：084-945-3575（構内内線 6632）

FAX：084-941-2984

携帯：080-2911-0684

E-Mail: hondan.qld@tn-sanso.co.jp

〒721-0931 広島県福山市鋼管町1番地